

物 件 目 録 1

(イ号物件)

一 図面の説明

第1図はイ号物件の正面図

第2図はイ号物件の使用態様を示す正面図

第3図はイ号物件の電氣的構成を示すブロック図

第4図はイ号物件の筐体のカバーを取り外した状態の内部略示正面図

第5図は表示板及びランプ取付板などを前倒させた状態の内部構造図

1 0 表示装置 (イ号物件：呼出しランプ「みっかー」)

1 2 筐体

1 2 a 背板

1 2 b カバー

1 4 表示板

2 0 a ないし 2 0 g ランプ

2 2 呼出しスイッチ

2 5 制御装置

2 5 a プリント基板

2 5 b ランプ取付板

2 5 c リード線

2 8 CPU

2 9 ワンチップマイクロコンピュータ

3 0、3 2 メモリ

5 0 中央制御装置

5 1 セーフ玉計数センサ

- 5 2 アウト玉計数センサ
- 5 3 磁石センサ
- A パチンコ台

二 構造の説明

① イ号物件の表示装置 1 0 はパチンコ店のパチンコ台 A それぞれの上方に取り付けられ、店員の呼出し、及びパチンコ台 A の状況を表示するために使用されるものである。

② 表示装置 1 0 は、上縁が円弧、下縁が弦の形を有する背板 1 2 a 及び該背板 1 2 a と同様の正面視形状を有し、背面側に湾曲凹部を有するカバー 1 2 b からなる筐体 1 2 に、表示板 1 4、ランプ 2 0 a ないし 2 0 f、呼出しスイッチ 2 2 及び制御装置 2 5 などの電子回路部品を装着してある。

背板 1 2 a には前記電子回路部品を実装したプリント基板 2 5 a が背板 1 2 a の中央部に平行的に取り付けられ、その前面に表示板 1 4 が取り付けられている。表示板 1 4 の背後に位置して左右に広がるように円弧状のランプ取付板 2 5 b が取り付けられており、ここに赤ランプ 2 0 a 及び 2 0 g (最外側)、黄ランプ 2 0 b 及び 2 0 f (その内側)、緑ランプ 2 0 c 及び 2 0 e (中央側) 並びに青ランプ 2 0 d (頂部) が取り付けられている。

③ 制御装置 2 5 は、ワンチップマイクロコンピュータ 2 9 (三菱電機株式会社製 M 3 8 0 6 7 E C A G P 又はカスタム品 A S A H I R D 9 8 0 6 D : 製造時期によって相違する) 及びこれに外付けされたメモリ 3 2 を備える。ワンチップマイクロコンピュータ 2 9 が備える CPU 2 8 は、ワンチップマイクロコンピュータ 2 9 内蔵のメモリ 3 0 に格納したプログラムを実行することにより、呼出しスイッチ 2 2 及びパチンコ台 A の大当たり及びスタートなどに係る端子からの信号に応じたランプ 2 0 a ないし 2 0 g 及び表示板 1 4 の点灯制御を行うものである。メモリ 3 2 はデータ記憶用のものである。

- ④ 呼出しスイッチ 2 2 は入力インターフェース 4 1 を介して制御装置 2 5 に連なり、制御装置 2 5 は入力インターフェース 4 1 を介してパチンコ台 A の大当たり及びスタートなどに係る端子にリード線 2 5 c によって接続される。
- ⑤ パチンコ台 A には不正行為のために使用される磁石を検出する磁石センサ 5 3 が設けられており、その検出信号は入力インターフェース 4 1 を介して制御装置 2 5 へ入力される。制御装置 2 5 は該検出信号を受けると、ワンチップマイクロコンピュータ 2 9 の CPU 2 8 が、メモリ 3 0 に記憶してある内容に従い、赤ランプ 2 0 a 及び 2 0 g を点灯させる。
- ⑥ 表示板 1 4 は、いずれも複数の 7 セグメント表示素子を組み合わせてなる、本日の大当たり回数表示部 1 4 a、前日の大当たり回数表示部 1 4 b、前々日の大当たり回数表示部 1 4 c、及びスタート回数表示部 1 4 d を備える。大当たりの履歴など表示に係る内容は前記メモリ 3 0 に記憶される。

呼出しスイッチ 2 2 をオンすると制御装置 2 5 を構成するワンチップマイクロコンピュータ 2 9 の CPU 2 8 がオン信号を検出し、メモリ 3 0 に記憶してある内容に従い、赤ランプ 2 0 a、2 0 g 及び黄ランプ 2 0 b、2 0 f が点灯するように制御する。

また大当たりが出た場合は、パチンコ台 A の前記端子から CPU 2 8 へ大当たりを報じる信号が入力され、CPU 2 8 は、メモリ 3 0 に記憶してある内容に従い、ランプ 2 0 a ないし 2 0 g を、赤及び黄の組と緑及び青の組とが交互点灯し、これに続いて青→緑→黄→赤→青→・・・の流れ点灯を行うように制御する。

大当たりを報じる信号はメモリ 3 0 に記憶され、CPU 2 8 はこれを用いて表示板 1 4 に大当たりの履歴などを表示する。

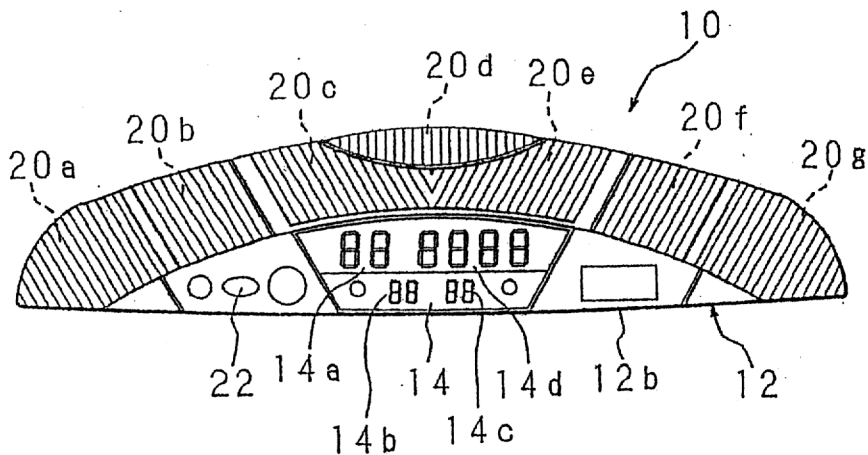
- ⑦ パチンコ台 A の上方にはパチンコ台 A へ供給した玉を計数するセーフ玉計数センサ 5 1 が設けられており、パチンコ台 A の下方にはパチンコ台 A から排出した玉を計数するアウト玉計数センサ 5 2 が設けられており、これらの出力は

ホールコンピュータと称する中央制御装置 5 0 へ入力される。

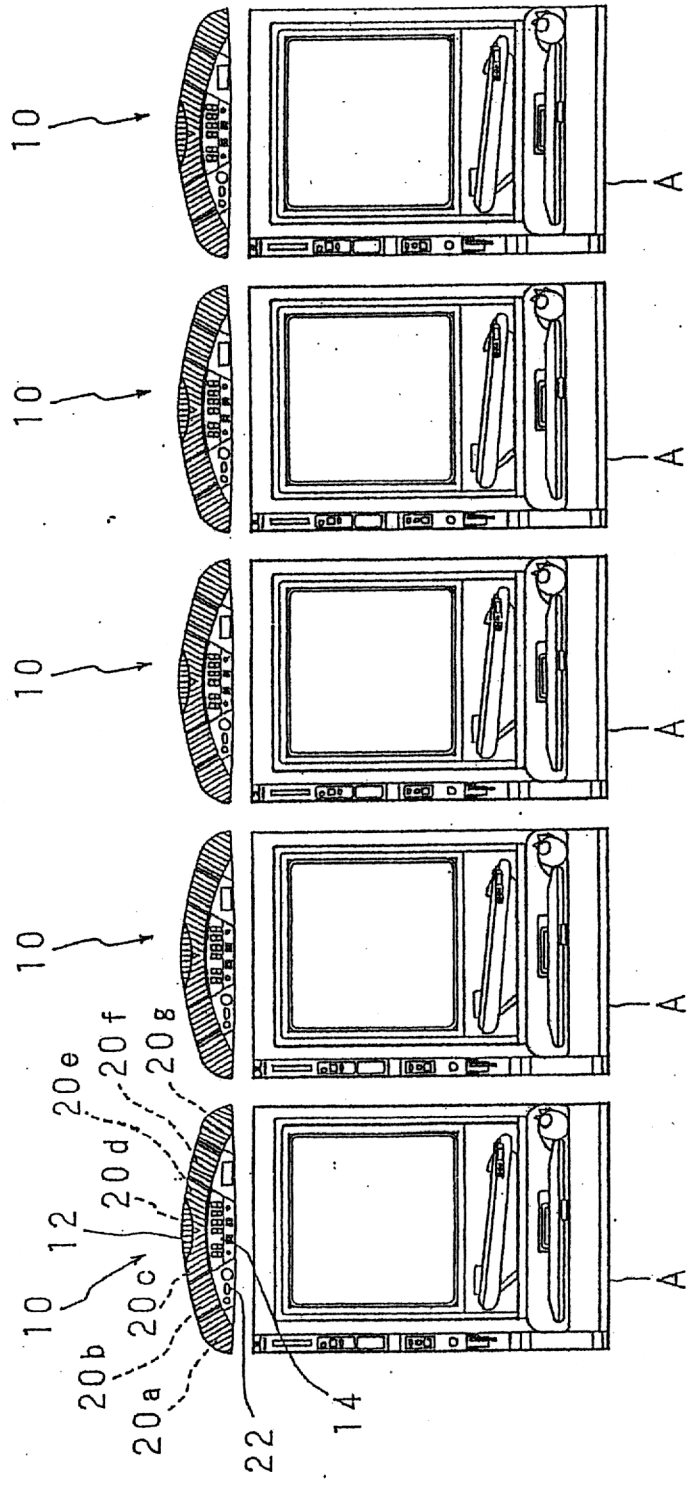
中央制御装置 5 0 はセーフ玉とアウト玉との差を算出し、これが所定値になった場合に打ち止め信号をパチンコ台 A へ出力するとともに表示装置 1 0 の入力インターフェース 4 1 を介して制御装置 2 5 へ打ち止め表示信号を出力する。

制御装置 2 5 は打ち止め表示信号を受けて、黄ランプ 2 0 b 及び 2 0 f を点灯させる。

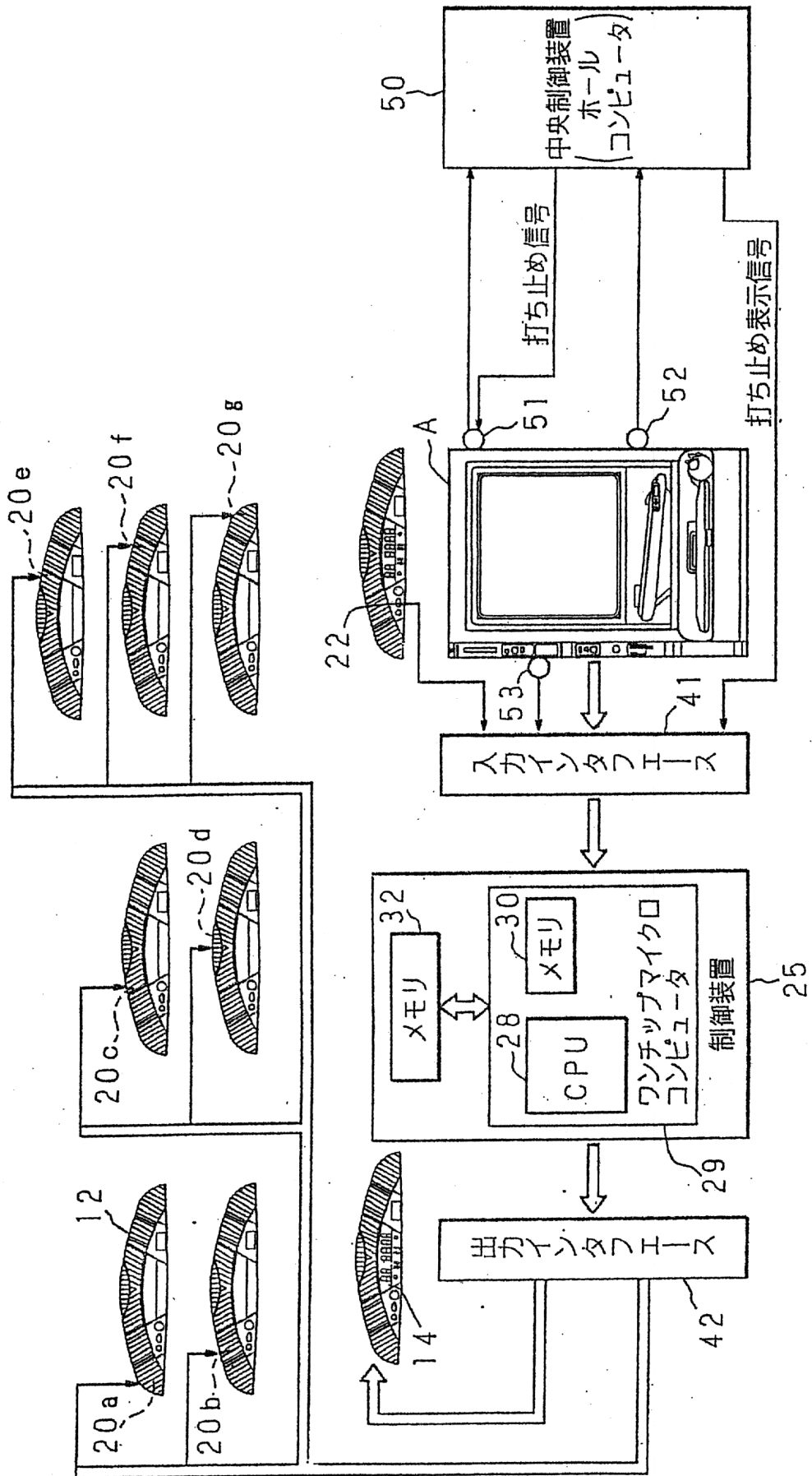
イ号図面



第 1 図

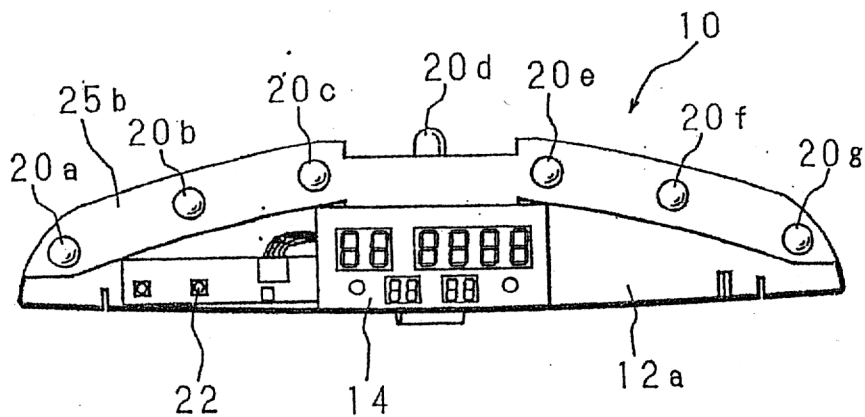


第 2 図



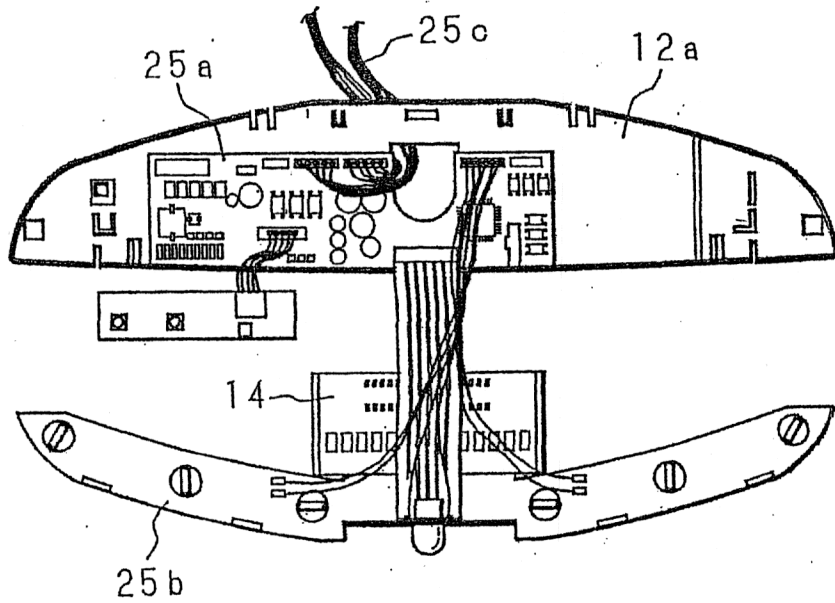
第 3 図

イ号図面



第 4 図

イ号図面



第 5 図

物 件 目 録 2

(ロ号物件)

一 図面の説明

第1図はロ号物件の正面図

第2図はロ号物件の使用態様を示す正面図

第3図はロ号物件の電氣的構成を示すブロック図

第4図はロ号物件の筐体のカバーを取り外した状態の内部略示正面図

第5図は主要回路基板の略示正面図

1 0 表示装置 (ロ号物件：呼出しランプ「テスラⅡ」)

1 2 筐体

1 2 a 背板

1 2 b カバー

1 4 表示板

2 0 a ないし 2 0 e ランプ

2 2 呼出しスイッチ

2 5 制御装置

2 5 a プリント基板

2 5 b ランプ取付板

2 8 CPU

2 9 ワンチップマイクロコンピュータ

3 0、3 2 メモリ

5 0 中央制御装置

5 1 セーフ玉計数センサ

5 2 アウト玉計数センサ

53 磁石センサ

A パチンコ台

二 構造の説明

① ロ号物件の表示装置10はパチンコ店のパチンコ台Aそれぞれの上方に取り付けられ、店員の呼出し、及びパチンコ台Aの状況を表示するために使用されるものである。

② 表示装置10は、横長長方形の背板12a及び該背板12aと同様の正面視形状を有し、背面側に湾曲凹部を有するカバー12bからなる筐体12に、表示板14、ランプ20aないし20e、呼出しスイッチ22及び制御装置25などの電子回路部品を装着してある。

背板12aには前記電子回路部品を実装したプリント基板25aが背板12aの中央部に平行的に取り付けられ、その前面に表示板14が取り付けられている。プリント基板25aの周りには3つのランプ取付板25bが取り付けられており、ここに赤ランプ20c及び20d（上外側）、黄ランプ20a及び20b（下外側）並びに青ランプ20e（中央上側）が取り付けられている。

③ 制御装置25は、ワンチップマイクロコンピュータ29（三菱電機株式会社製M38869FFA）及びこれに外付けされたメモリ32を備える。ワンチップマイクロコンピュータ29が備えるCPU28は、ワンチップマイクロコンピュータ29内蔵のメモリ30に格納したプログラムを実行することにより、呼出しスイッチ22及びパチンコ台Aの大当たり及びスタートなどに係る端子からの信号に応じたランプ20aないし20e及び表示板14の点灯制御を行うものである。メモリ32はデータ記憶用のものである。

④ 呼出しスイッチ22は入力インターフェース41を介して制御装置25に連なる。パチンコ台Aの大当たり及びスタートなどの信号も入力インターフェース41を介して制御装置25へ入力されるように接続される。

⑤ パチンコ台Aには不正行為のために使用される磁石を検出する磁石センサ53が設けられており、その検出信号は入力インターフェース41を介して制御装置25へ入力されるように接続される。制御装置25は該検出信号を受けると、ワンチップマイクロコンピュータ29のCPU28が、メモリ30に記憶してある内容に従い、赤ランプ20c及び20dを点灯させる。

⑥ 表示板14は、いずれも複数の7セグメント表示素子を組み合わせてなる、本日の大当たり回数表示部14a及びスタート回数表示部14bを備える。表示に係る数値は前記メモリ30及び／又はメモリ32に記憶される。

呼出しスイッチ22をオンすると制御装置25を構成するワンチップマイクロコンピュータ29のCPU28がオン信号を検出し、メモリ30に記憶してある内容に従い、赤ランプ20c及び20d並びに黄ランプ20a及び20bが点灯するように制御する。

また大当たりが出た場合は、パチンコ台Aの前記端子からCPU28へ大当たりを報じる信号が入力され、CPU28は、メモリ30に記憶してある内容に従い、ランプ20aないし20eを、赤2灯の組と黄2灯及び青の組とが交互点灯し、これに続いて青→赤→黄→青→・・・の流れ点灯を行うように制御する。

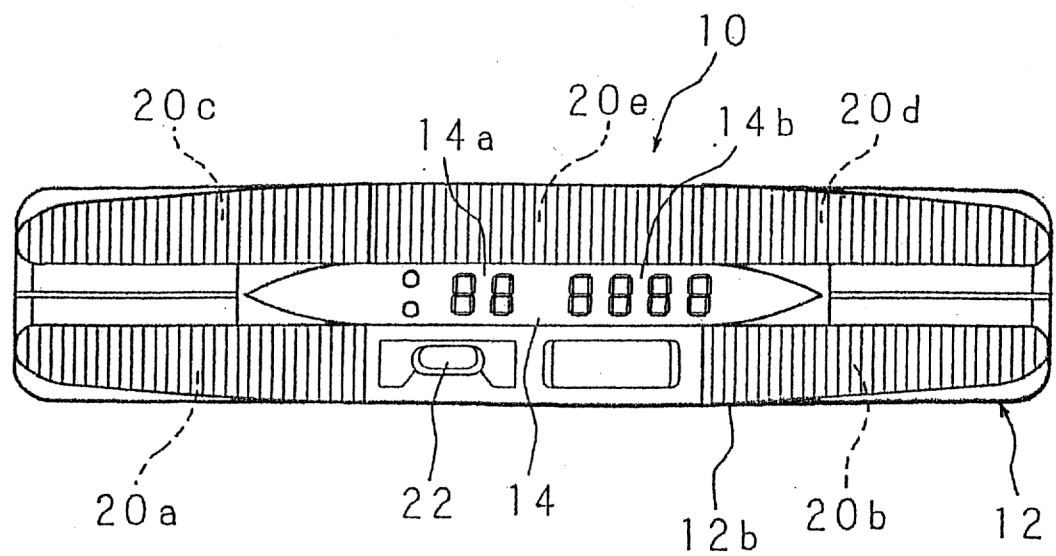
大当たりを報じる信号はメモリ30及び／又はメモリ32に記憶され、CPU28はこれを用いて表示板14に大当たりの当日の回数を表示する。

⑦ パチンコ台Aの上方にはパチンコ台Aへ供給した玉を計数するセーフ玉計数センサ51が設けられており、パチンコ台Aの下方にはパチンコ台Aから排出した玉を計数するアウト玉計数センサ52が設けられており、これらの出力はホールコンピュータと称する中央制御装置50へ入力される。

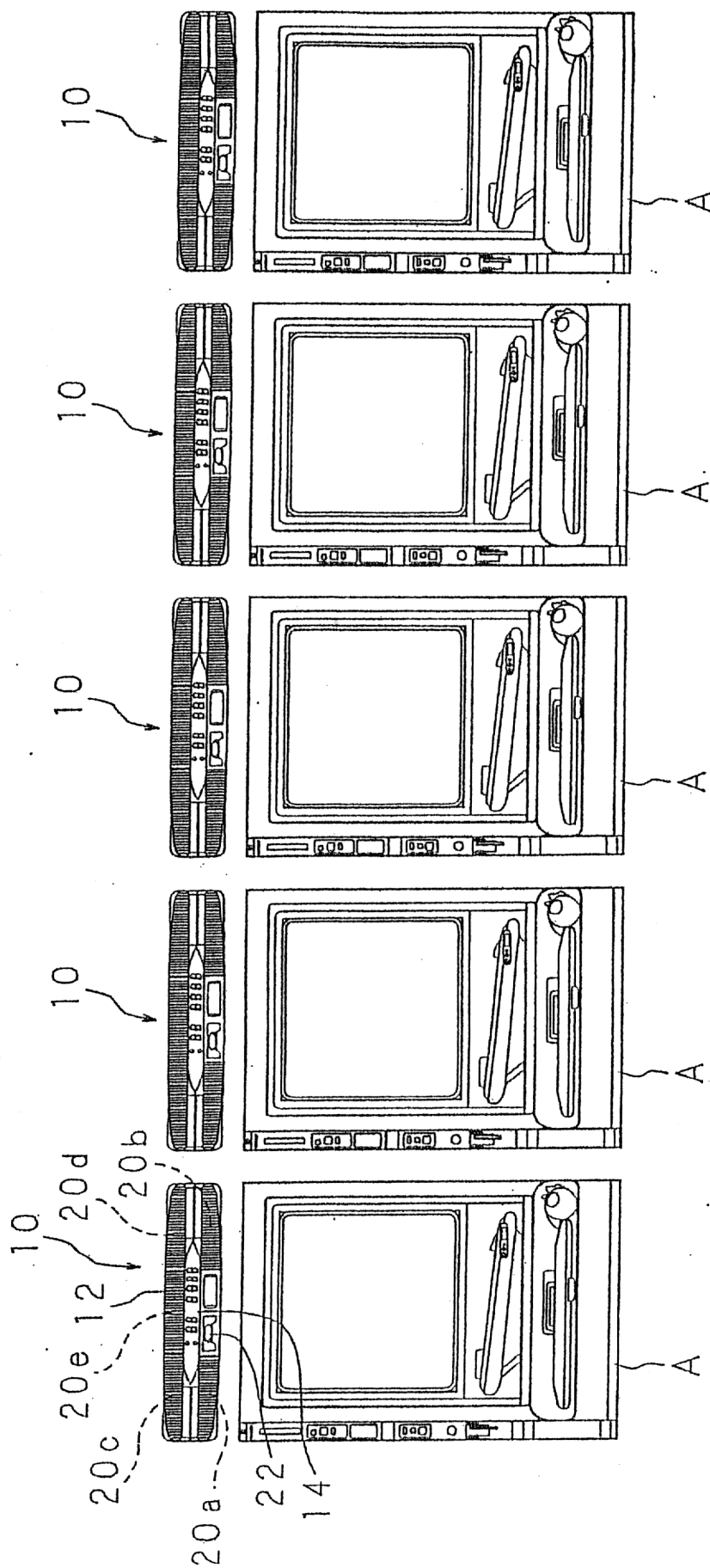
中央制御装置50はセーフ玉とアウト玉との差を算出し、これが所定値になった場合に打ち止め信号をパチンコ台Aへ出力するとともに表示装置10の入力インターフェース41を介して制御装置25へ打ち止め表示信号を出力す

る。

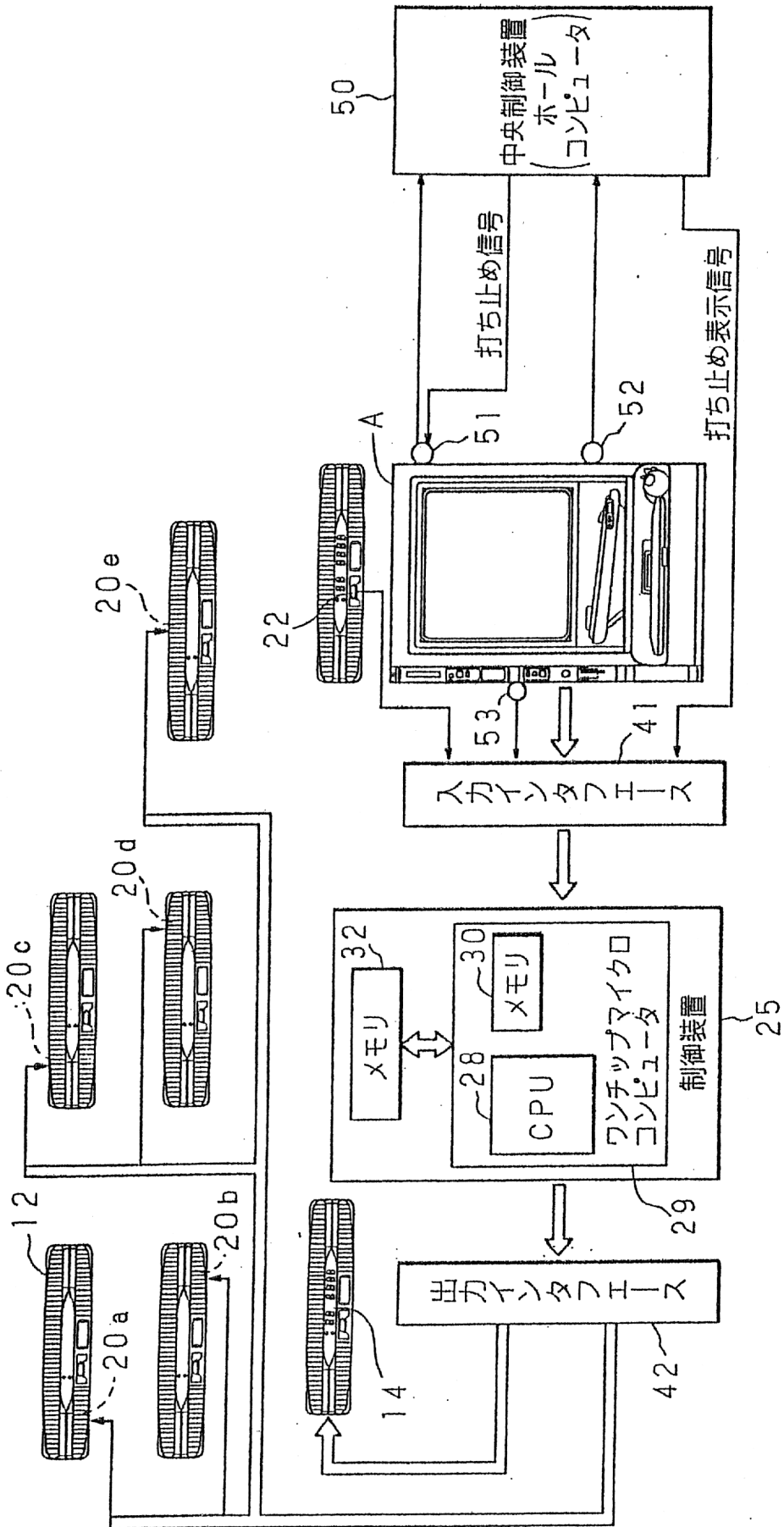
制御装置 25 は打ち止め表示信号を受けて、黄ランプ 20 a 及び 20 b を点灯させる。



第 1 図

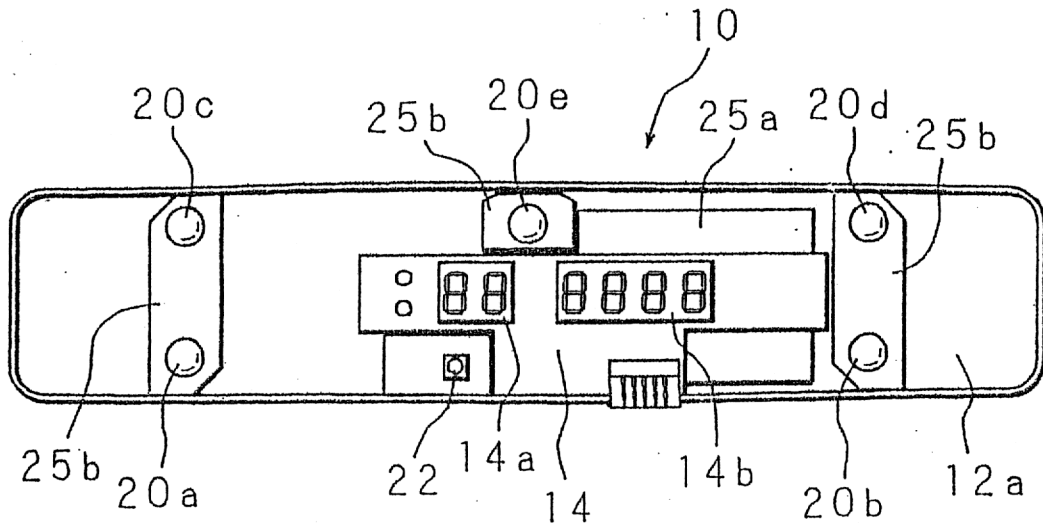


第 2 图

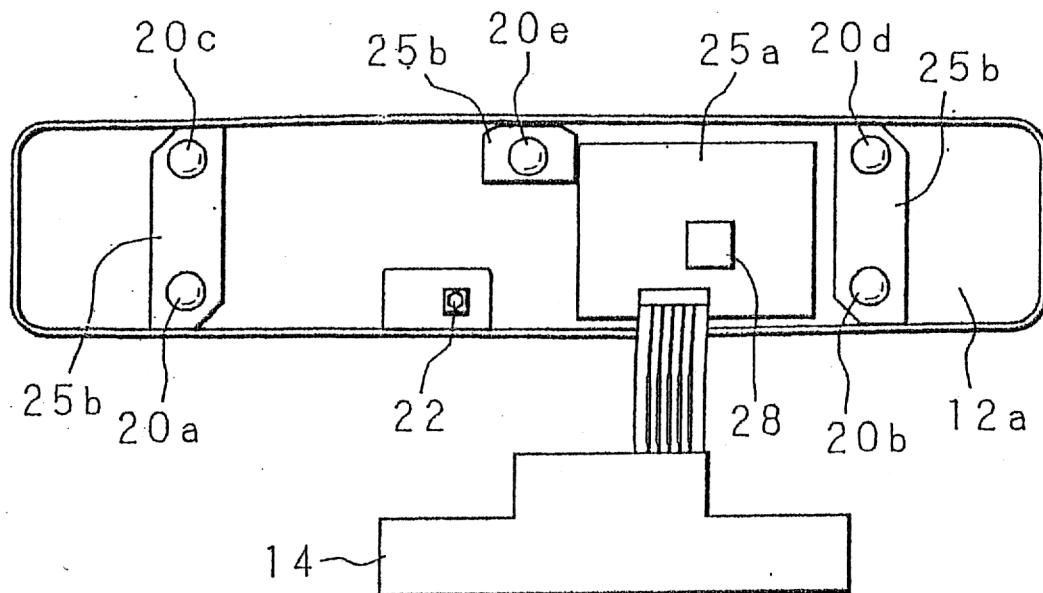


第 3 図

口号図面



第 4 図



第 5 図

物 件 目 録 3

(ハ号物件)

一 図面の説明

第1図はハ号物件の正面図

第2図はハ号物件の使用態様を示す正面図

第3図はハ号物件の電氣的構成を示すブロック図

第4図はハ号物件の筐体のカバーを取り外した状態の内部略示正面図

第5図は表示板及びランプ取付板などを前倒させた状態の内部構造図

1 0 表示装置 (ハ号物件：呼出しランプ「み・る・ん・だ」)

1 2 筐体

1 2 a 背板

1 2 b カバー

1 4 表示板

2 0 a ないし 2 0 g ランプ

2 2 呼出しスイッチ

2 5 制御装置

2 5 a プリント基板

2 5 b ランプ取付板

2 8 C P U

2 9 ワンチップマイクロコンピュータ

3 0、3 2 メモリ

5 0 中央制御装置

5 1 セーフ玉計数センサ

5 2 アウト玉計数センサ

53 磁石センサ

A パチンコ台

二 構造の説明

① ハ号物件の表示装置10はパチンコ店のパチンコ台Aそれぞれの上方に取り付けられ、店員の呼出し、及びパチンコ台Aの状況を表示するために使用されるものである。

② 表示装置10は、上縁が直線、下縁が大径の円弧、左右両側縁が小径の円弧の形を有する背板12a及び該背板12aと同様の正面視形状を有し、背面側に湾曲凹部を有するカバー12bからなる筐体12に、表示板14、ランプ20aないし20g、呼出しスイッチ22及び制御装置25などの電子回路部品を装着してある。

背板12aには前記電子回路部品を実装したプリント基板25aが背板12aの中央部に平行的に取り付けられ、その前面に表示板14が取り付けられている。表示板14の背後に位置して上部から左右側部にかけて広がるように横長板状のランプ取付板25bが取り付けられており、ここに赤ランプ20a及び20g（最外側）、黄ランプ20b及び20f（その内側）、緑ランプ20c及び20e（更にその内側）並びに青ランプ20d（中央部）が取り付けられている。

③ 制御装置25は、ワンチップマイクロコンピュータ29（三菱電機株式会社製M38067ECAGP）及びこれに外付けされたメモリ32を備える。ワンチップマイクロコンピュータ29が備えるCPU28は、ワンチップマイクロコンピュータ29内蔵のメモリ30に格納したプログラムを実行することにより、呼出しスイッチ22及びパチンコ台Aの大当たり及びスタートなどに係る端子からの信号に応じたランプ20aないし20g及び表示板14の点灯制御を行うものである。メモリ32はデータ記憶用のものである。

- ④ 呼出しスイッチ 2 2 は入力インターフェース 4 1 を介して制御装置 2 5 に連なる。パチンコ台 A の大当たり及びスタートなどの信号も入力インターフェース 4 1 を介して制御装置 2 5 へ入力されるように接続される。
- ⑤ パチンコ台 A には不正行為のために使用される磁石を検出する磁石センサ 5 3 が設けられており、その検出信号は入力インターフェース 4 1 を介して制御装置 2 5 へ入力されるように接続される。制御装置 2 5 は該検出信号を受けると、ワンチップマイクロコンピュータ 2 9 の CPU 2 8 が、メモリ 3 0 に記憶してある内容に従い、赤ランプ 2 0 a 及び 2 0 g を同時点滅させる。
- ⑥ 表示板 1 4 は、いずれも複数の 7 セグメント表示素子を組み合わせる、本日の大当たり回数表示部 1 4 a、前日の大当たり回数表示部 1 4 b、前々日の大当たり回数表示部 1 4 c、及びスタート回数表示部 1 4 d と、赤緑の両色表示灯を 7 灯縦配列して過去 7 回の確変突入（赤）／大当たり（緑）の履歴表示部 1 4 e とを備える。大当たりの履歴など表示に係る内容は前記メモリ 3 0 及び／又はメモリ 3 2 に記憶される。

呼出しスイッチ 2 2 をオンすると制御装置 2 5 を構成するワンチップマイクロコンピュータ 2 9 の CPU 2 8 がオン信号を検出し、メモリ 3 0 に記憶してある内容に従い、赤ランプ 2 0 a、2 0 g 及び黄ランプ 2 0 b、2 0 f が点灯するように制御する。

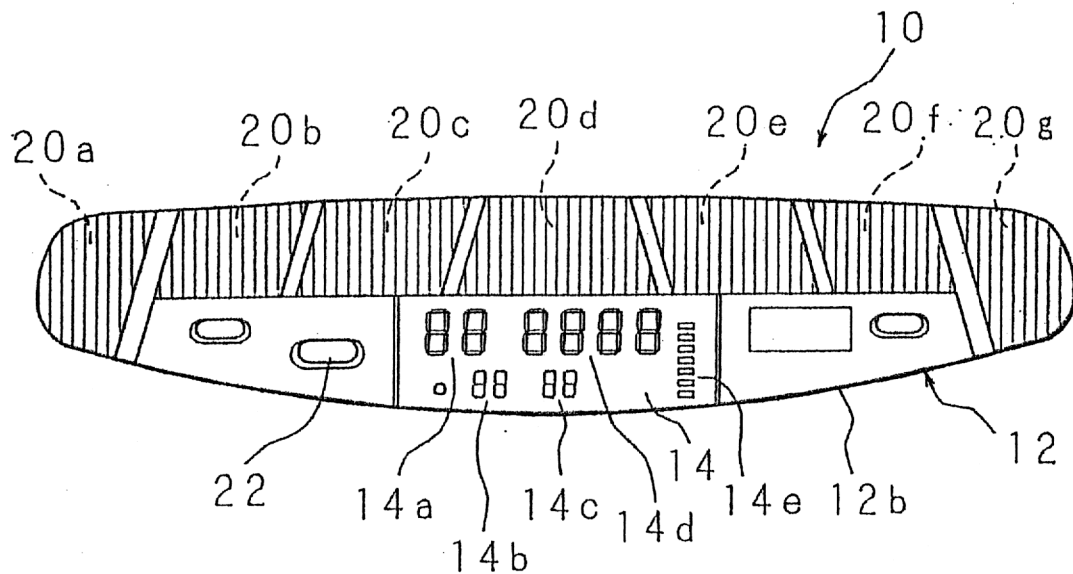
また大当たりが出た場合は、パチンコ台 A の前記端子から CPU 2 8 へ大当たりを報じる信号が入力され、CPU 2 8 は、メモリ 3 0 に記憶してある内容に従い、ランプ 2 0 a ないし 2 0 g を、赤及び黄の組と緑及び青の組とが交互点灯し、これに続いて青→緑→黄→赤→青→・・・の流れ点灯を行うように制御する。

- ⑦ パチンコ台 A の上方にはパチンコ台 A へ供給した玉を計数するセーフ玉計数センサ 5 1 が設けられており、パチンコ台 A の下方にはパチンコ台 A から排出した玉を計数するアウト玉計数センサ 5 2 が設けられており、これらの出力は

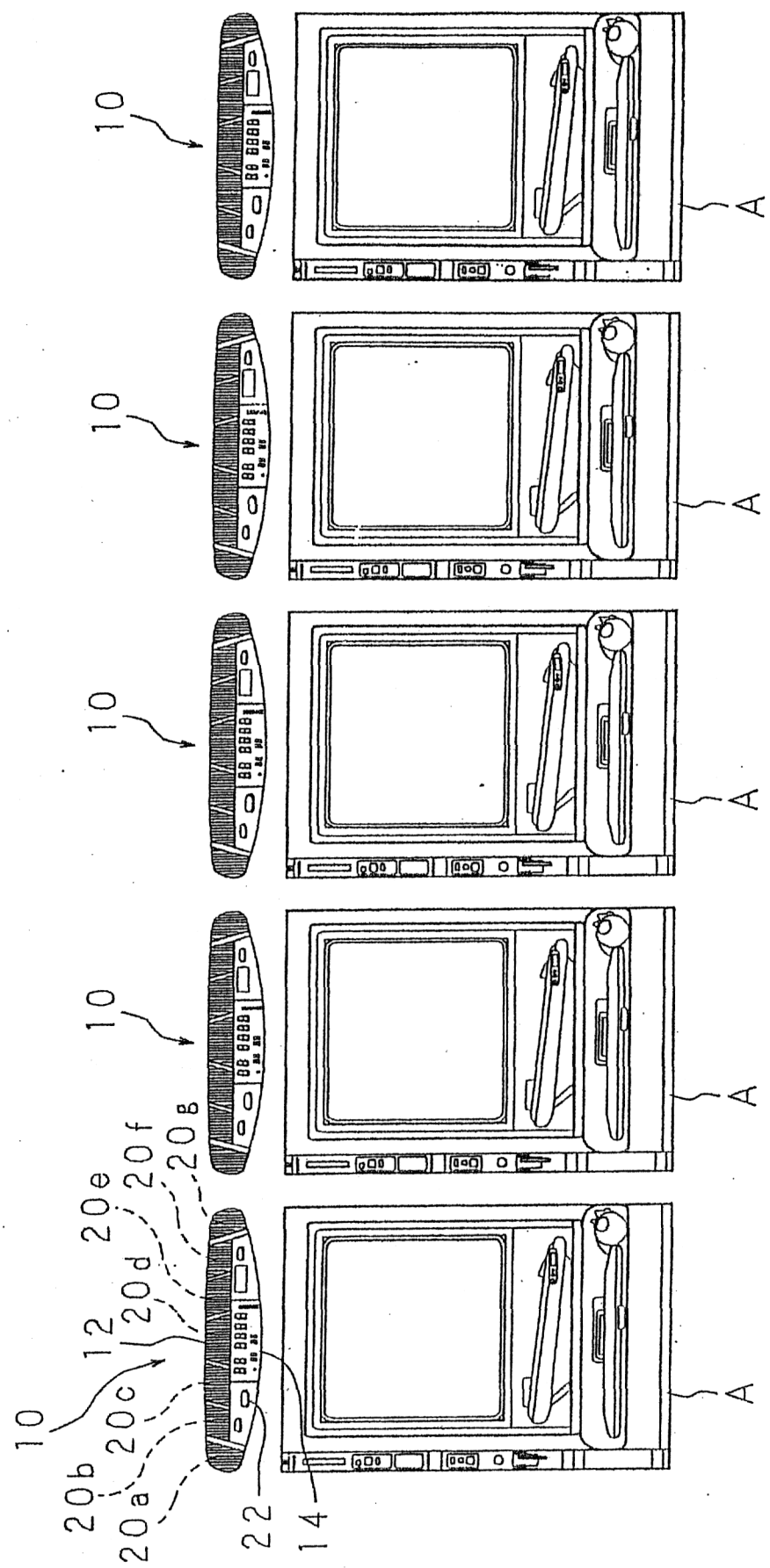
ホールコンピュータと称する中央制御装置 5 0 へ入力される。

中央制御装置 5 0 はセーフ玉とアウト玉との差を算出し、これが所定値になった場合に打ち止め信号をパチンコ台 A へ出力するとともに表示装置 1 0 の入力インターフェース 4 1 を介して制御装置 2 5 へ打ち止め表示信号を出力する。

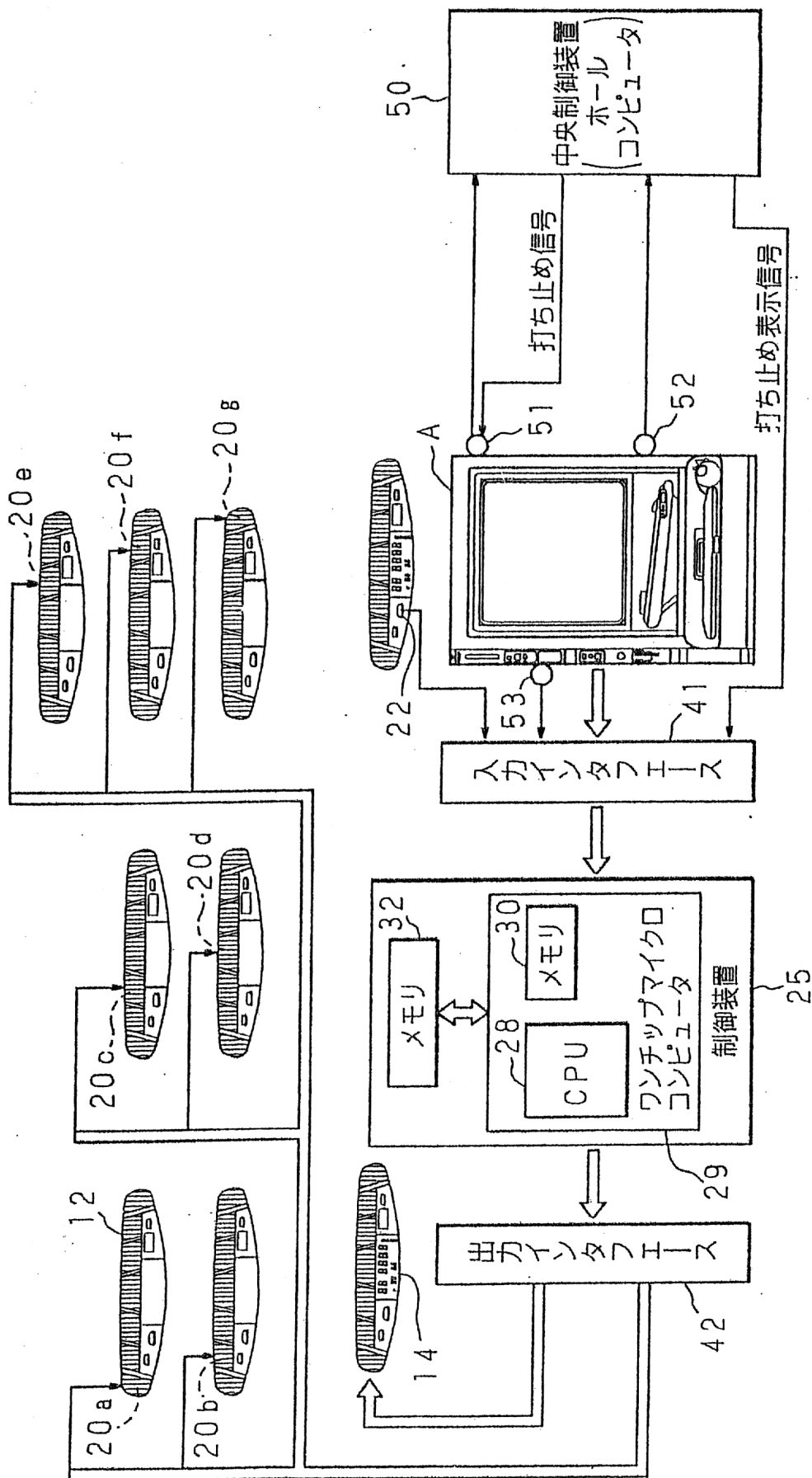
制御装置 2 5 は打ち止め表示信号を受けて、黄ランプ 2 0 b 及び 2 0 f を点灯させる。



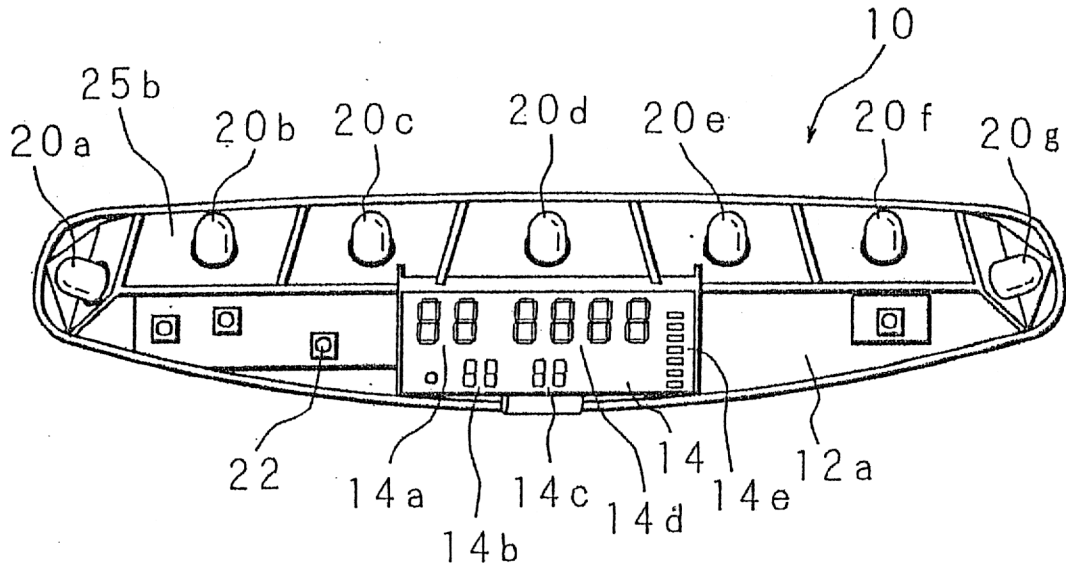
第 1 图



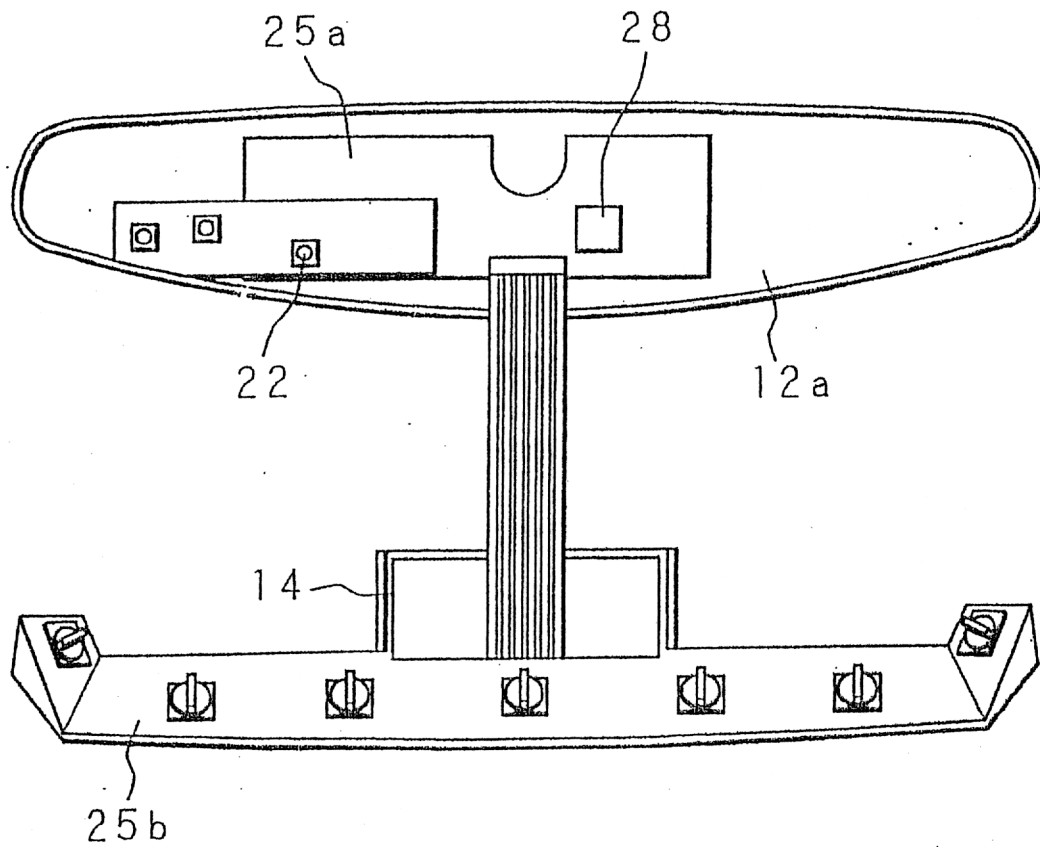
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 5 図

物 件 目 録 4

(二号物件)

一 図面の説明

第1図は二号物件の正面図

第2図は二号物件の使用態様を示す正面図

第3図は二号物件の電氣的構成を示すブロック図

第4図は二号物件の筐体のカバーを取り外した状態の内部略示正面図

第5図は表示板及びランプ取付板などを前倒させた状態の内部構造図

1 0 表示装置 (二号物件：呼出しランプ「みてーね」)

1 2 筐体

1 2 a 背板

1 2 b カバー

1 4 表示板

2 0 a ないし 2 0 g ランプ

2 2 呼出しスイッチ

2 5 制御装置

2 5 a プリント基板

2 5 b ランプ取付板

2 8 C P U

2 9 ワンチップマイクロコンピュータ

3 0、3 2 メモリ

5 0 中央制御装置

5 1 セーフ玉計数センサ

5 2 アウト玉計数センサ

53 磁石センサ

A パチンコ台

二 構造の説明

① 二号物件の表示装置10はパチンコ店のパチンコ台Aそれぞれの上方に取り付けられ、店員の呼出し、及びパチンコ台Aの状況を表示するために使用されるものである。

② 表示装置10は、下縁が直線、上縁が大径の円弧、左右両側縁が小径の円弧の形を有する背板12a及び該背板12aと同様の正面視形状を有し、背面側に湾曲凹部を有するカバー12bからなる筐体12に、表示板14、ランプ20aないし20g、呼出しスイッチ22及び制御装置25などの電子回路部品を装着してある。

背板12aには前記電子回路部品を実装したプリント基板25aが背板12aの中央部に平行的に取り付けられ、その前面に表示板14が取り付けられている。表示板14の背後に位置して上部から左右側部にかけて広がるように弓形板状のランプ取付板25bが取り付けられており、ここに赤ランプ20a及び20g（最外側）、黄ランプ20b及び20f（その内側）、緑ランプ20c及び20e（更にその内側）並びに青ランプ20d（中央部）が取り付けられている。

③ 制御装置25は、ワンチップマイクロコンピュータ29（三菱電機株式会社製M38869FFAHP）及びこれに外付けされたメモリ32を備える。ワンチップマイクロコンピュータ29が備えるCPU28は、ワンチップマイクロコンピュータ29内蔵のメモリ30に格納したプログラムを実行することにより、呼出しスイッチ22及びパチンコ台Aの大当たり及びスタートなどに係る端子からの信号に応じたランプ20aないし20g及び表示板14の点灯制御を行うものである。メモリ32はデータ記憶用のものである。

- ④ 呼出しスイッチ 2 2 は入力インターフェース 4 1 を介して制御装置 2 5 に連なる。パチンコ台 A の大当たり及びスタートなどの信号も入力インターフェース 4 1 を介して制御装置 2 5 へ入力されるように接続される。
- ⑤ パチンコ台 A には不正行為のために使用される磁石を検出する磁石センサ 5 3 が設けられており、その検出信号は入力インターフェース 4 1 を介して制御装置 2 5 へ入力される。制御装置 2 5 は該検出信号を受けると、ワンチップマイクロコンピュータ 2 9 の CPU 2 8 が、メモリ 3 0 に記憶してある内容に従い、赤ランプ 2 0 a 及び 2 0 g の同時点滅をさせる。
- ⑥ 表示板 1 4 は、いずれも複数の 7 セグメント表示素子を組み合わせてなる数字の表示部を備え、該表示部は、本日の大当たり回数表示部 1 4 a、前日の大当たり回数表示部 1 4 b、前々日の大当たり回数表示部 1 4 c、スタート回数表示部 1 4 d、過去最高の大当たり回数表示部 1 4 f 及び確変突入回数表示部 1 4 g を有する。表示板 1 4 はまた右下部分に、赤／緑／黄の選択表示をする上側の横 1 列の 7 灯、及び連続点灯又は点滅する下側の横 1 列の赤の 7 灯からなり、過去 7 回の大当たり間のスタート回数（上側 赤：5 0 0 回以下～3 0 1 回以上、黄：3 0 0 回以下～1 0 1 回以上、緑：1 0 0 回以下など）及び単発大当たり（下側 連続点灯）／確変大当たり（下側 点滅）の別を表示する履歴表示部 1 4 e を備える。大当たりの履歴など表示に係る内容は前記メモリ 3 0 及び／又はメモリ 3 2 に記憶される。

呼出しスイッチ 2 2 をオンすると制御装置 2 5 を構成するワンチップマイクロコンピュータ 2 9 の CPU 2 8 がオン信号を検出し、メモリ 3 0 に記憶してある内容に従い、赤ランプ 2 0 a、2 0 g 及び黄ランプ 2 0 b、2 0 f が点灯するように制御する。

また大当たりが出た場合は、パチンコ台 A の前記端子から CPU 2 8 へ大当たりを報じる信号が入力され、CPU 2 8 は、メモリ 3 0 に記憶してある内容に従い、ランプ 2 0 a ないし 2 0 g を、赤及び黄の組と緑及び青の組とが交互

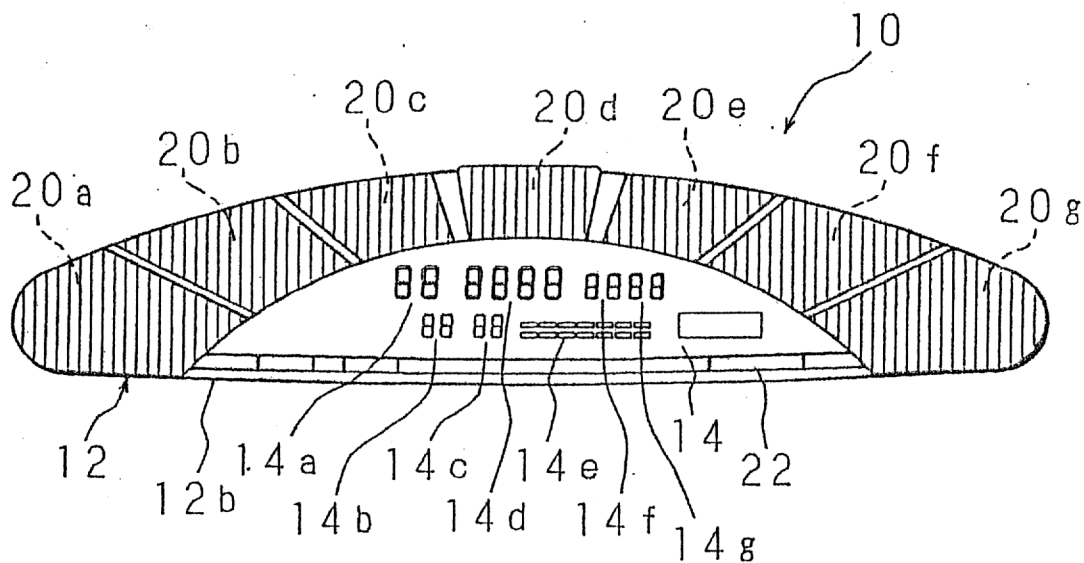
点灯し、これに続いて青→緑→黄→赤→青→・・・の流れ点灯を行うように制御する。

大当たりを報じる信号はメモリ 30 及び／又はメモリ 32 に記憶され、CPU 28 はこれを用いて表示板 14 に大当たりの履歴などを表示する。

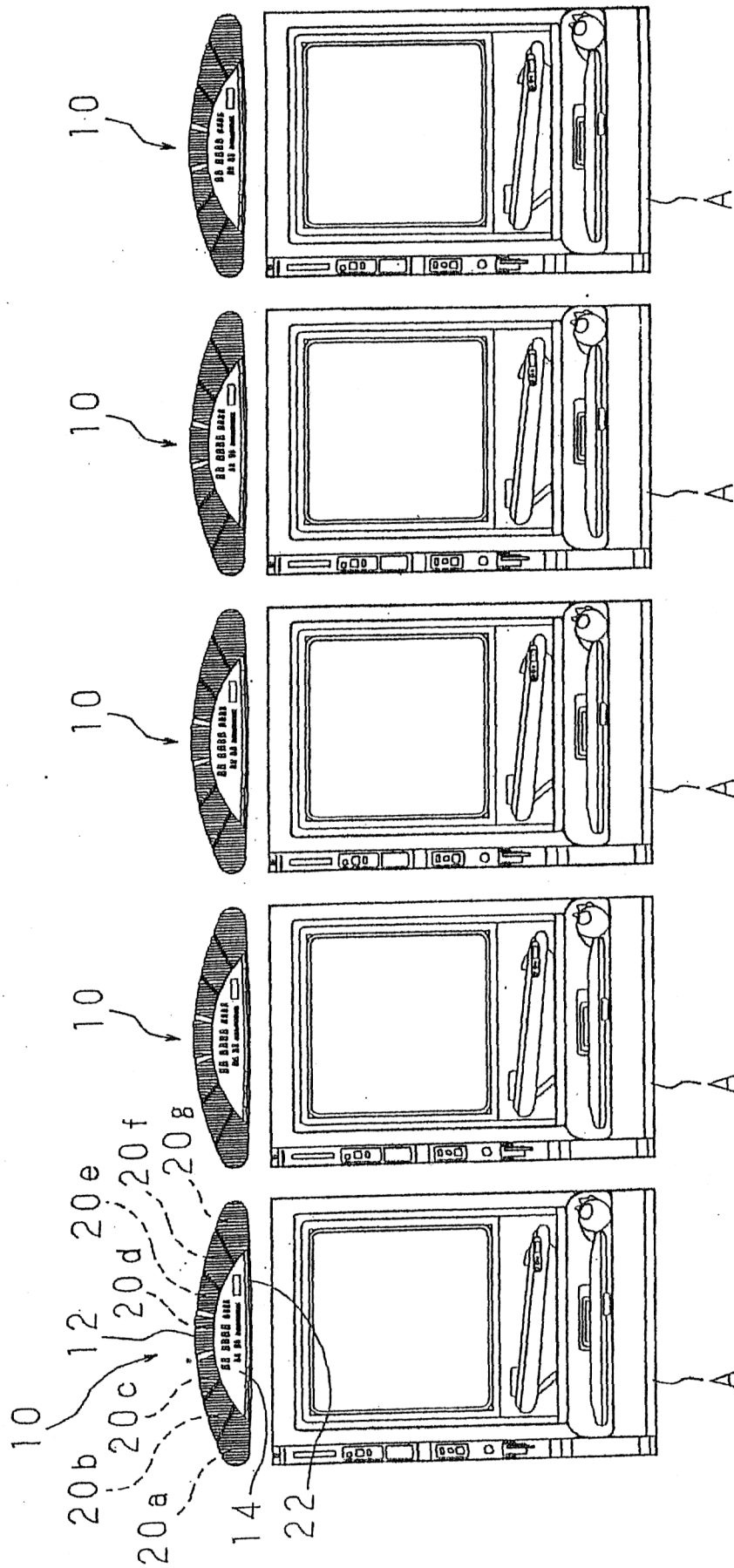
- ⑦ パチンコ台 A の上方にはパチンコ台 A へ供給した玉を計数するセーフ玉計数センサ 51 が設けられており、パチンコ台 A の下方にはパチンコ台 A から排出した玉を計数するアウト玉計数センサ 52 が設けられており、これらの出力はホールコンピュータと称する中央制御装置 50 へ入力される。

中央制御装置 50 はセーフ玉とアウト玉との差を算出し、これが所定値になった場合に打ち止め信号をパチンコ台 A へ出力するとともに表示装置 10 の入力インターフェース 41 を介して制御装置 25 へ打ち止め表示信号を出力する。

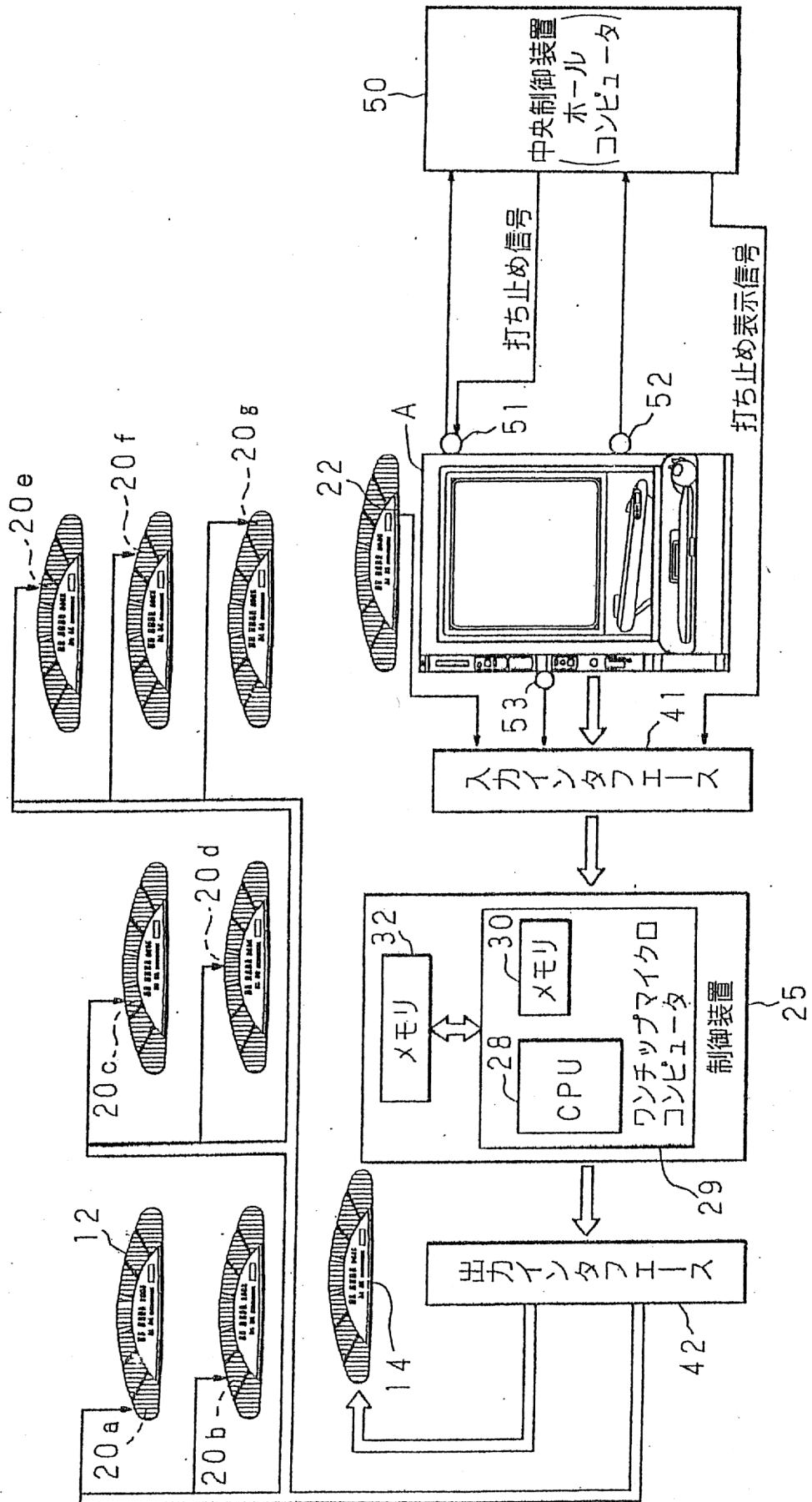
制御装置 25 は打ち止め表示信号を受けて、黄ランプ 20b 及び 20f を点灯させる。



第 1 図



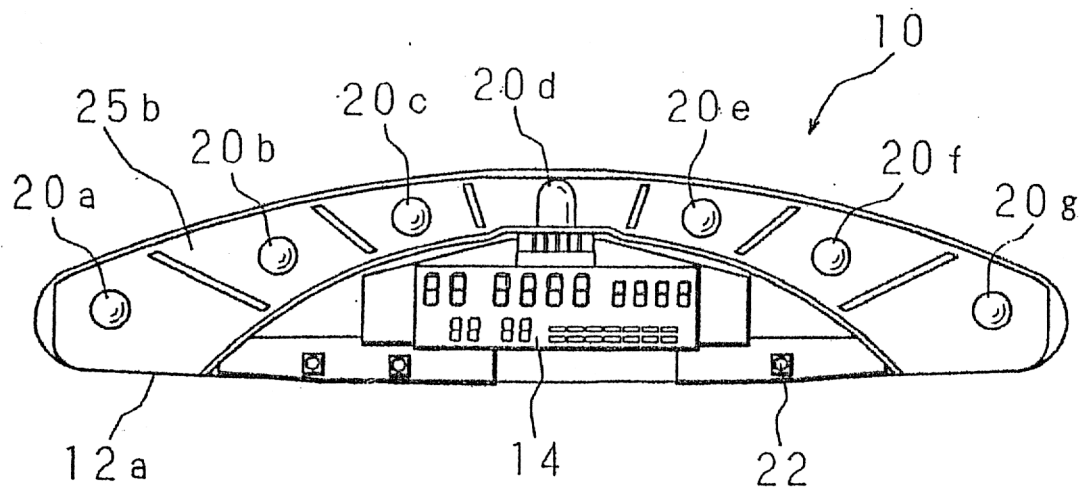
第 2 図



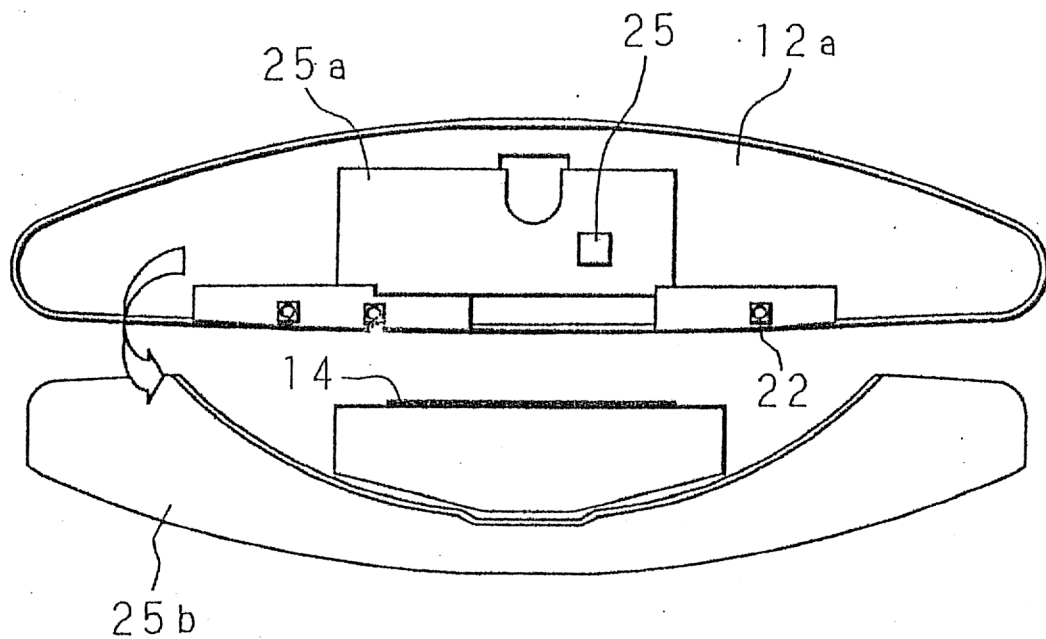
第 3 図

二号図面

みて一ね



第 4 図



物 件 目 録 5

(ホ号物件)

一 図面の説明

第1図はホ号物件の正面図

第2図はホ号物件の使用態様を示す正面図

第3図はホ号物件の電氣的構成を示すブロック図

第4図はホ号物件の筐体のカバーを取り外した状態の内部略示正面図

第5図は表示板及びランプ取付板などを前倒させた状態の内部構造図

1 0 表示装置 (ホ号物件：呼出しランプ「グラフリー」)

1 2 筐体

1 2 a 背板

1 2 b カバー

1 4 表示板

2 0 a ないし 2 0 f ランプ部

2 2 呼出しスイッチ

2 5 制御装置

2 5 a プリント基板

2 5 b ランプ取付板

2 8 C P U

2 9 ワンチップマイクロコンピュータ

3 0、3 2 メモリ

5 0 中央制御装置

5 1 セーフ玉計数センサ

5 2 アウト玉計数センサ

- 5 3 磁石センサ
- A パチンコ台

二 構造の説明

- ① ホ号物件の表示装置 1 0 はパチンコ店のパチンコ台 A それぞれの上方に取り付けられ、店員の呼出し、及びパチンコ台 A の状況を表示するために使用されるものである。
- ② 表示装置 1 0 は、略横長長方形を有する背板 1 2 a 及び該背板 1 2 a と同様の正面視形状を有し、背面側に湾曲凹部を有するカバー 1 2 b からなる筐体 1 2 に、表示板 1 4、ランプ部 2 0 a ないし 2 0 f、呼出しスイッチ 2 2 及び制御装置 2 5 などの電子回路部品を装着してある。

背板 1 2 a には前記電子回路部品を実装したプリント基板 2 5 a が背板 1 2 a の中央部に平行的に取り付けられ、その前面中央に表示板 1 4 が取り付けられている。表示板 1 4 の左右に位置してランプ取付板 2 5 b、2 5 b が取り付けられている。ランプ取付板 2 5 b、2 5 b に取り付けられたランプ部 2 0 a ないし 2 0 f は光源として各 4 個の LED を横配列してなるものである。ランプ部は左右それぞれに各 3 列取り付けられており、左右の上側のランプ部 2 0 a 及び 2 0 b は赤、同じく中央のランプ部 2 0 c 及び 2 0 d は青、同じく下側のランプ部 2 0 e 及び 2 0 f は緑の色をそれぞれ有している。

- ③ 制御装置 2 5 は、ワンチップマイクロコンピュータ 2 9（三菱電機株式会社製 M 3 8 8 6 9 F F A H P）及びこれに外付けされたメモリ 3 2 を備える。ワンチップマイクロコンピュータ 2 9 が備える CPU 2 8 は、ワンチップマイクロコンピュータ 2 9 内蔵のメモリ 3 0 に格納したプログラムを実行することにより、呼出しスイッチ 2 2 及びパチンコ台 A の大当たり及びスタートなどに係る端子からの信号に応じたランプ 2 0 a ないし 2 0 f 及び表示板 1 4 の点灯制御を行うものである。メモリ 3 2 はデータ記憶用のものである。

- ④ 呼出しスイッチ 2 2 は入力インターフェース 4 1 を介して制御装置 2 5 に連なる。パチンコ台 A の大当たり及びスタートなどの信号も入力インターフェース 4 1 を介して制御装置 2 5 へ入力されるように接続される。
- ⑤ パチンコ台 A には不正行為のために使用される磁石を検出する磁石センサ 5 3 が設けられており、その検出信号は入力インターフェース 4 1 を介して制御装置 2 5 へ入力される。制御装置 2 5 は該検出信号を受けると、ワンチップマイクロコンピュータ 2 9 の CPU 2 8 が、メモリ 3 0 に記憶してある内容に従い、赤ランプ部 2 0 a 及び 2 0 b の同時点灯をさせる。
- ⑥ 表示板 1 4 は、いずれも複数の 7 セグメント表示素子を組み合わせてなる、本日の大当たり回数表示部 1 4 a、前日の大当たり回数表示部 1 4 b、前々日の大当たり回数表示部 1 4 c、及びスタート回数表示部 1 4 d と、赤／黄の選択表示灯（最下列）及び緑色表示灯をマトリックス状に配置してなり過去 1 0 日分の大当たり回数／大当たり間の平均スタート回数をグラフ状に表示する履歴表示部 1 4 e とを備える。各部の表示内容はモード切替スイッチ 2 2 a、2 2 b、2 2 c で切り替えられる。大当たりの履歴など表示に係る内容は前記メモリ 3 0 及び／又はメモリ 3 2 に記憶される。

呼出しスイッチ 2 2 をオンすると制御装置 2 5 を構成するワンチップマイクロコンピュータ 2 9 の CPU 2 8 がオン信号を検出し、メモリ 3 0 に記憶してある内容に従い、赤ランプ部 2 0 a、2 0 b 及び緑ランプ部 2 0 e、2 0 f が点灯するように制御する。

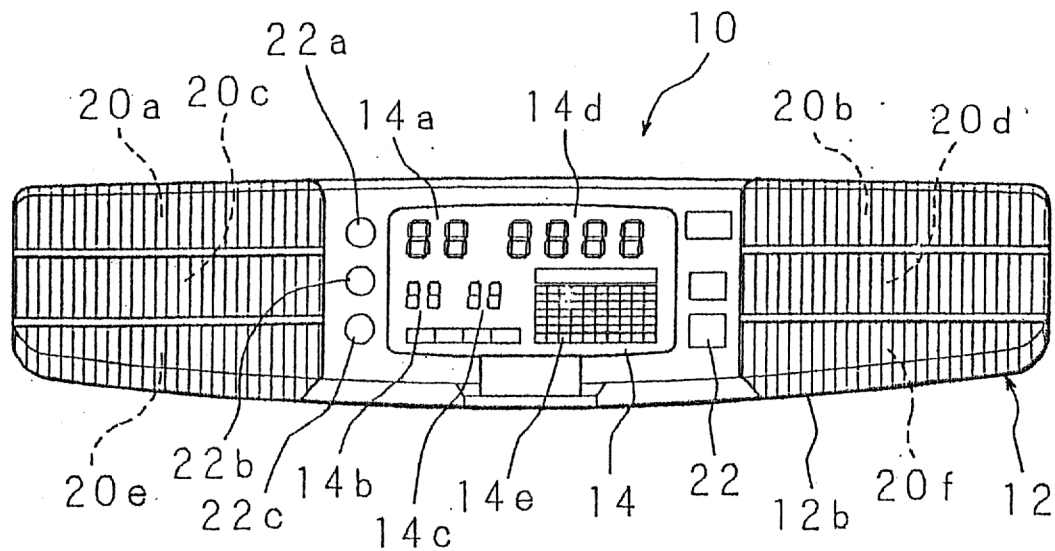
また大当たりが出た場合は、パチンコ台 A の前記端子から CPU 2 8 へ大当たりを報じる信号が入力され、CPU 2 8 は、メモリ 3 0 に記憶してある内容に従い、全ランプ部 2 0 a ないし 2 0 f の点滅をし、これに続いて赤→青→緑→赤→青→・・・の流れ点灯を行うように制御する。

大当たりを報じる信号はメモリ 3 0 及び／又はメモリ 3 2 に記憶され、CPU 2 8 はこれを用いて表示板 1 4 に大当たりの履歴などを表示する。

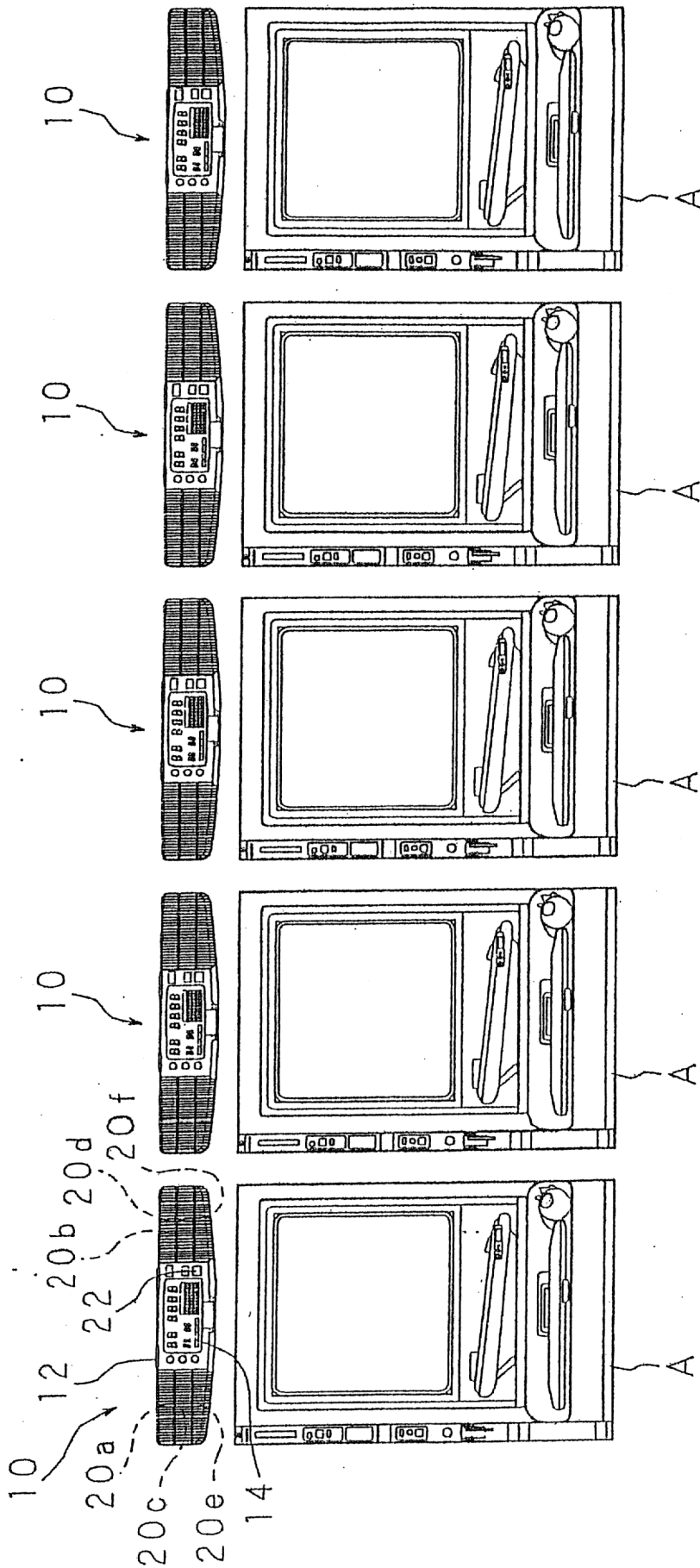
⑦ パチンコ台Aの上方にはパチンコ台Aへ供給した玉を計数するセーフ玉計数センサ51が設けられており、パチンコ台Aの下方にはパチンコ台Aから排出した玉を計数するアウト玉計数センサ52が設けられており、これらの出力はホールコンピュータと称する中央制御装置50へ入力される。

中央制御装置50はセーフ玉とアウト玉との差を算出し、これが所定値になった場合に打ち止め信号をパチンコ台Aへ出力するとともに表示装置10の入力インターフェース41を介して制御装置25へ打ち止め表示信号を出力する。

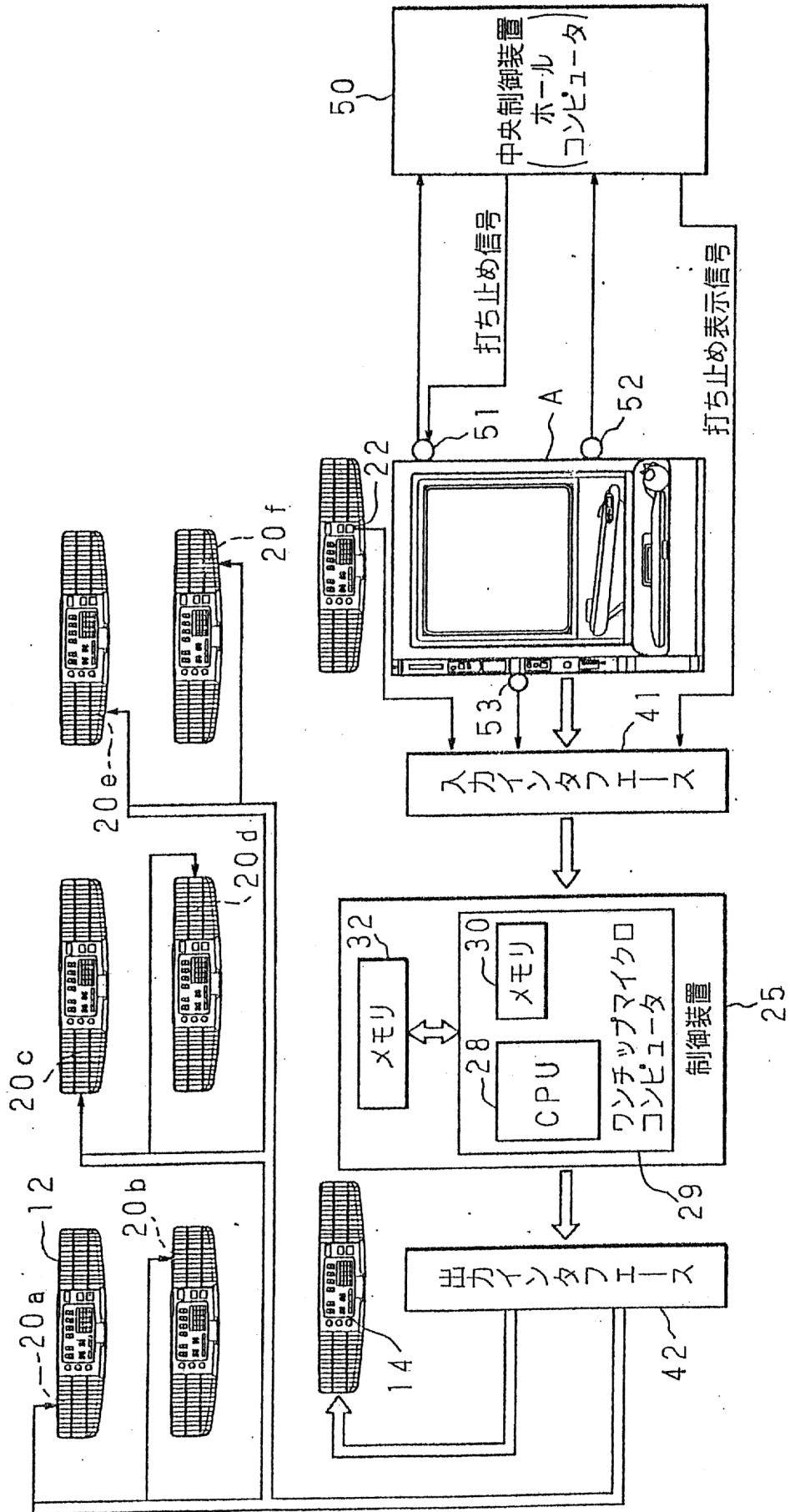
制御装置25は打ち止め表示信号を受けて、青ランプ部20c及び20dを点灯させる。



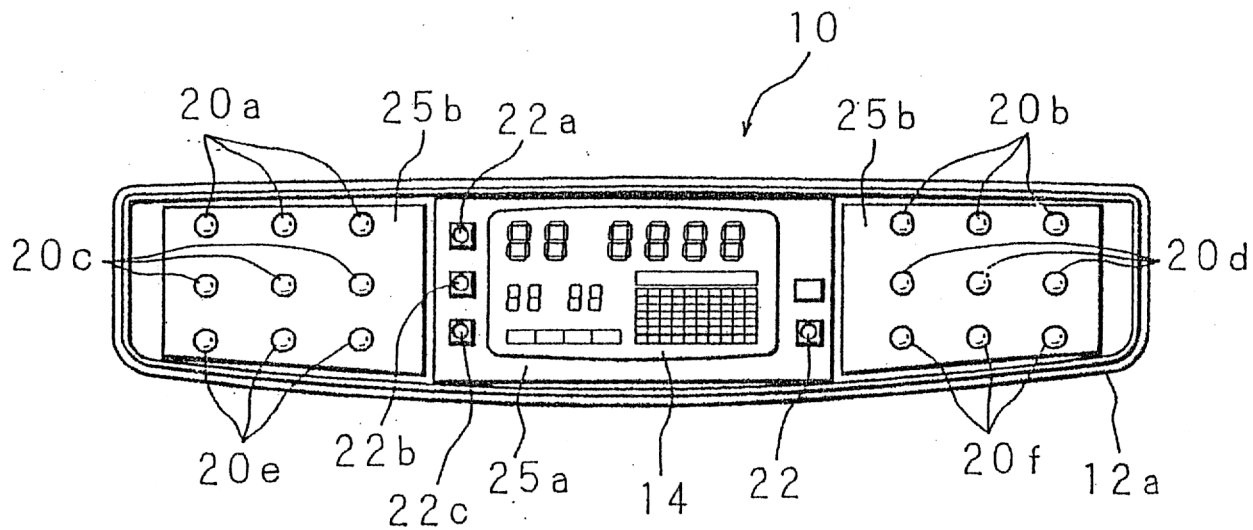
第 1 図



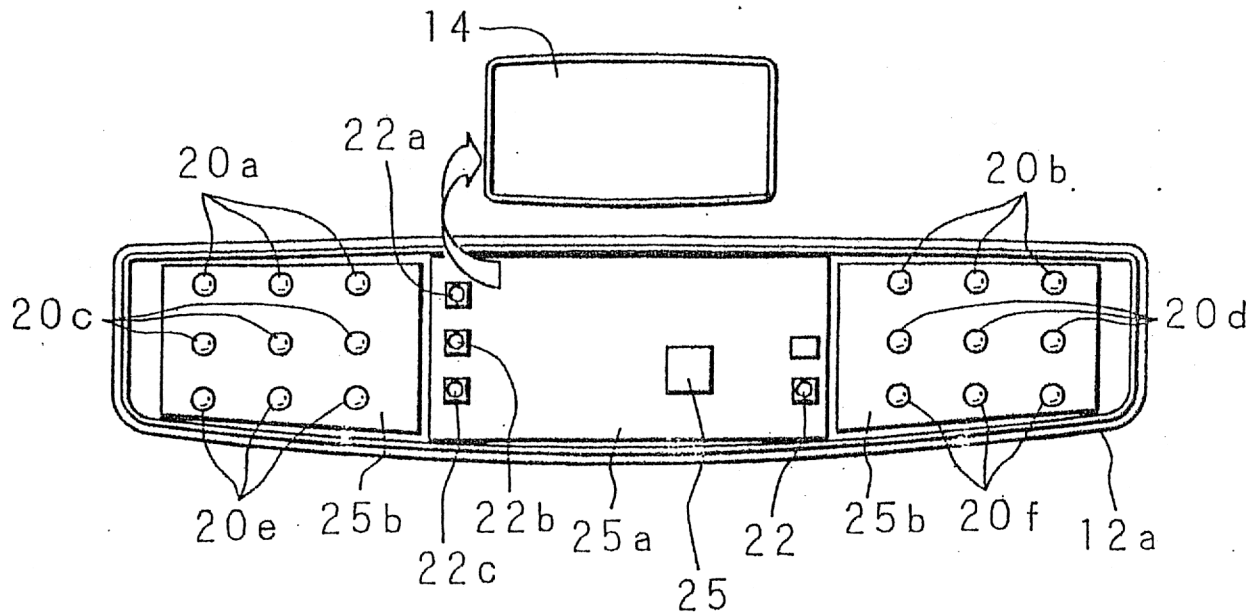
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 5 図

特 許 権 目 録

登 録 番 号	特許第2686497号
発 明 の 名 称	パチンコ台の表示装置
出 願 年 月 日	昭和62年7月16日
出 願 番 号	62-177738
登 録 年 月 日	平成9年8月22日
特許請求の範囲	<p>1. パチンコ台毎に取付けられその台の作動状況等を表示するパチンコ台の表示装置において、</p> <p>文字・図形を表示する表示板と、ランプと、呼出しスイッチと、制御装置とを一つの筐体に装着する一方、前記制御装置は複数の表示内容を記憶するメモリと、CPUとを備え、前記CPUはパチンコ台および呼出しスイッチから入力される作動状況を示す信号に基づいて作動状況に対応する表示内容を示すプログラムを前記メモリから読出して前記表示板およびランプに表示させることを特徴とするパチンコ台の表示装置。</p>